

事務事業評価表 平成25年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 電子情報化の推進
 基本事業 行政手続の電子化

事業名 **基幹系業務システム再構築事業**

[1030]

部名	総務部	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	情報推進課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 基幹系業務システム
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 新システムへの完全かつ安全なデータ移行を行い再構築を行う
	手段
	(事務事業の内容、やり方、手段) 最新のパッケージシステムを導入する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	システムで処理する業務数	件			23	23
対象指標2						
活動指標1	新システムへの移行数	件			1	23
活動指標2						
成果指標1	トラブル回数	件			0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	17,747	30,771
正職員人件費 (B)		千円	0	0	11,623	11,681
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	29,370	42,452

費用内訳	
24年度	旅費 265千円、委託料 17,482千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	システム運用費用の圧縮、平成 25年度の包括アウトソーシングの満了	事業を取り巻く環境変化	
--------	-----------------------------------	-------------	--

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

住民記録、税、国民健康保険等、基礎的な市の業務を支えるシステムを再構築するものである。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

最新のパッケージシステムとすることにより、市民サービスの向上、業務効率化が期待できる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

財務会計システムについては、平成 25年度予算要求より稼働し、特に大きな問題は発生していない。
住民情報システムについては、平成 25年 11月稼働に向けて作業中である。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

安全・確実なデータ移行は、システム再構築において必須である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

新規事業